

2019年度日本政府(文部科学省)奨学金留学生選考試験

学科試験 問題

(学部留学生用)

日 本 語

注意 ☆ 試験時間は120分

☆ 答えは全て解答用紙に記入すること。

☆ 問題はA（初級）、B（中級）、C（上級）の三つあります。

(2019)

日本語

国籍 Nationality		番号 No.		点数 Marks	
氏名 Name	(フルネームを書いて、姓に下線を引くこと。 Please print your full name, underlining your family name.)				

問題

A

Elementary Level

I _____ に ^{はい}入る ^{いち}一ばん てきとうな ものを A~Dの ^{なか}中から ^{ひと}一つ えらびなさい。

(例) わたしは ^{にほんご}日本語 _____ ^{べんきょう}勉強しています。
A が B を C に D へ

- 1 としょかん _____ ^{ほん}本を かえしに ^い行っ ^きて 来ました。
A から B で C と D へ
- 2 きょうの サッカーの しあいで _____ が かつと おもいますか。
A いくつ B いくら C どちら D なに
- 3 ジョンさんは ^{にほんご}日本語を _____ ^{はな}話します。
A じょうずく B じょうずで C じょうずと D じょうずに
- 4 へやを ^で出るとき、^{でんき}電気を _____ ください。
A きえて B きして C けして D けせて
- 5 友だちと ^{とも} _____ を つくって、^た食べました。
A コップ B サラダ C サンドル D スーパー
- 6 ノートを ^ご五 _____ ^か買いました。
A さつ B にん C ほん D まい
- 7 いそがしくて、^{やす}休みが _____ ありません。
A けっして B たいへん C だんだん D ほとんど
- 8 あさ、^{じかん}時間が _____ とき、^{しんぶん}新聞を ^よ読みません。
A よい B いい C ない D いない
- 9 かのじょを りょうしんに _____ します。
A あんない B しょうかい C しんぱい D はいけん

10 このレストランの りょうりは あまり _____。

- A おいしくなかったです B おいしいじゃなかったです
C おいしかったです D おいしいじゃないです

II _____と ^{いち}一ばん ^{かんけい}かんけいが ある ものを A~Dの ^{なか}中から ^{ひと}一つ えらびなさい。

(例) ^{れい} けさ コーヒーを のみました。

- A きょうの あさ
B きょうの ゆうがた
C きのうの あさ
D きのうの ゆうがた

1 ^{やま}山田さんは りんごを ^か買いました。

- A くだもの B さかな C にく D のみもの

2 ^{やま}山に ^い行くので、^{ある}歩きやすい くつを よいしてください。

- A じゅんぴ B ちゅうい C やくそく D よやく

3 このもんだいは かんがえても ^わ分かりません。

- A あぶない B いたい C さびしい D おずかしい

4 この本を ^{ほん} ぜんぶ ^よ読むのは、むりだと おもいます。

- A つまらない B できない C おもしろい D たいせつだ

5 じしょを つかわずに ^か書いてください。

- A つかったまま B つかおうと
C つかってから D つかわないで

6 このふくは わたしには たかすぎます。

A たかいほうが いい

B ちょうど いい

C とても たかい

D やすくなりたい

7 田中さんは ^{いま} 今 ^{くるま} 車を あらっています。

A ^{あたらし} 新しく している

B きれいに している

C ^{おお} 大きく している

D にぎやかに している

8 来週、東京駅の ^{ちかく} ちかくに ある ホテルに とまります。

A とまったことが ある

B とまってある

C とまっている

D とまるつもりだ

9 山田さんに おみまいを もって ^い 行きました。

A ^{やまだ} 山田さんは けっこんした

B ^{やまだ} 山田さんは そつぎょうした

C ^{やまだ} 山田さんは びょうきだ

D ^{やまだ} 山田さんは りょこうに ^い 行った

10 わたしは ^{たなか} 田中さんに ^{えいご} 英語を おしえていただきました。

A ^{たなか} 田中さんは わたしに ^{えいご} 英語を おしえてくれた

B わたしは ^{たなか} 田中さんに ^{えいご} 英語を おしえてあげた

C ^{たなか} 田中さんと わたしは ^{えいご} 英語を おしえてあげた

D わたしと ^{たなか} 田中さんは ^{えいご} 英語を おしえてもらった

Ⅲ _____に ^{はい} 入る ^{いち} 一ばん てきとうな ものを A～Dの ^{なか} 中から ^{ひと} 一つ えらびなさい。

1 お母さん：「ユカ、今日は ^{きょう} なんじに ^{かえ} 帰るの？」

ユカさん：「^わ 分からないけど、きっと おそく なるよ。」

お母さん：「おそく なるなら、_____。」

A おだいじにね

B いってらっしゃい

C ^き 気を つけてね

D おまたせしました

2 エミさん：「ユカさん、りょこうは どうでしたか。」

ユカさん：「ゆめのような ^{うみ}海で およぎました。とても いい
ところでした。」

エミさん：「へえ、_____。」

ユカさん：「ええ、とっても。」

A たのしかったんですね

B たのしかったそうですね

C たのしかったんですね

D たのしそうでしたね

3 ユカさん：「エミさん、^{げん き}元気が ないですね。」

エミさん：「すうがくの しけんが あったんですが、いい ^{てん}点が とれませんでした。
した。あまり ^{つぎ}べんきょうしなかったもので……。」

ユカさん：「_____。次は がんばりましょう。」

A けっこうですね

B ざんねんでしたね

C つまらないですね

D もうしわけないですね

4 ^{た なか}田中さん：「このへやは あついですね。エアコンを つけても いいですか。」

^{やま た}山田さん：「_____。」

^{た なか}田中さん：「これで すずしく なりますね。」

A さあ

B そうそう

C それは ちょっと

D どうぞ

5 ^{なかやま}中山さん：「ぜひ ^{かいしゃ}この会社で はたらきたいと ^{おも}思います。よろしく おねが
いします。」

^{しゃちょう}社長：「^{なかやま}中山さんの ^き気もちは よく わかりました。では、これで めんせ
つを おわります。」

^{なかやま}中山さん：「ありがとうございました。_____。」

A しつれいします

B また らいしゅう

C さようなら

D おじゃましました

Ⅳ ①～⑧の 漢字の 読み方を ひらがなで 書きなさい。また、(1)～(7)の _____ の ひらがなを 漢字で 書きなさい。

山の ① 南 の方で ② 雨 が ふっています。

③ 国 では 家族と ④ 住んで いました。

⑤ 弟 は 朝から ずっと ⑥ 台所 に 立っています。

たくさんの ⑦ 鳥 が ⑧ 空 を とんでいます。

私の (1) あに の 家は とても (2) ふる いです。

私は (3) き いろい バラの (4) はな が 好きです。

(5) ひる ごはんに 大きい (6) さかな を 食べました。

(7) あき に なると、気温が 下がります。

V 次の文を読んで、あとの問いに答えなさい。答えはA～Dの中から最も適切なものを一つ選びなさい。

(1) 寝ようとと思ったら、部屋の壁を大きい虫が歩いていた。急いで虫を部屋の外へ出そうと思ったが、虫はどこかへ行ってしまった。こわくて寝られないので、部屋の中をよく探した。すると、本だなの下から出てきたので、雑誌を使って、虫を窓の外へ出した。やっと寝ることができた。次の日、部屋に置いてあった服にごみがついていたので、取ろうとしたら、ごみではなくて虫だった。嫌いな虫が毎日出るのでは、安心して生活できない。早く引っ越したいと思っている。

問い1 文の内容に合っているものはどれですか。

- A 寝た後で、大きい虫を見つけた。
- B 虫は雑誌の中から歩いて出てきた。
- C 部屋にあった服に、虫がついていた。
- D 虫が出る部屋は嫌なので、引っ越した。

(2) 人と犬は、15000年以上前から一緒に生活してきました。たくさんの犬が仕事のなかまとして、人と一緒に働いています。なぜなら、犬には特別な力があるからです。たとえば、遠くで動くものを見つけたり、人には聞こえない音を聞いたり、人が感じないにおいを感じたりすることができます。人は、昔から、このような犬のすばらしい力を生活のために使ってきました。また、犬は人の気持ちを明るくすると言われていてから、犬と一緒にいることで、病気の人やおじいさん、おばあさんが元気になることもあります。

問い2 文の内容に合っているものはどれですか。

- A 犬は15000年前に特別な力を持ち始めました。
- B 犬は遠くの木や山を見つけることができます。
- C 犬は人と生活するために特別な力を使います。
- D 犬は人の気持ちを変えることができます。

(3) みなさんは、毎日学校へ通うのに、どのくらい時間がかかりますか。日本では、東京や大阪の学校や会社へ通う人の半分は、一時間以上かけて学校や会社へ行きます。そのうち35%の人が「学校や会社へ通うのが大変だ」と考えています。電車で学校や会社へ通う人も多いですが、彼らが学校や会社へ通うとき電車の中ですることは、一位が「本を読むこと」、二位が「インターネットでニュースを見ること」、三位が「寝ること」だそうです。

と 問い3 文の内容に合っているものはどれですか。

- A 東京や大阪の学校や会社へ通う人の50%は、学校や会社まで一時間以上かかります。
- B 一時間以上かけて学校や会社へ通う人のうち、ほとんどの人が「学校や会社へ通うのが大変だ」と考えています。
- C 電車で学校や会社へ通う人の35%は、「学校や会社へ通うのが大変だ」と考えています。
- D 電車で学校や会社へ通う人は、電車の中で何もしていません。

(4) 私たちは、いつもたくさんのプラスチック・スプーンを使っています。プラスチック・スプーンが私たちの体や環境によくないことは知られていますが、いつでもスプーンを持ち歩くことは難しいです。そこで、最近、ある会社が、食べられるスプーンを作ったそうです。この食べられるスプーンは米から作られていて、環境にもやさしい上、プラスチック・スプーンと同じくらい安いお金で作れます。食べ物の味も変えないこのスプーンは、人気になるのでしょうか。

と 問い4 文の内容に合っているものはどれですか。

- A プラスチック・スプーンは高いのが問題です。
- B 食べられるスプーンは高くはないし、環境にもいいです。
- C 食べられるスプーンを使うと、食べ物がおいしくなります。
- D ある会社の人はプラスチック・スプーンを持ち歩いています。

(5) 画家は、生きている間にたくさんの絵を描きます。私たちはその絵を、画家が亡くなったあとも美術館などで見ることができますが、もう新しい絵を見ることはできません。ところが、最近、もう亡くなった有名な画家の「新しい絵」が発表されました。絵を描いたのは、AIです。研究グループは、AIにこの画家らしい描き方を三百以上の絵から調べさせました。「新しい絵」には、黒い服を着て、帽子をかぶった白人のおじさんが描かれているそうです。

と
問い5 文の内容に合っているものはどれですか。

- A この画家はいつも黒い服を着ていました。
- B この画家はAIに絵を描かせました。
- C AIは、この画家がどんな絵を描いてきたか調べました。
- D AIは、この画家が描いた絵と同じ絵を描きました。

問題

B

Intermediate Level

I _____ ^{はい もっと てきとう}に入る 最も 適 当 なものをA～Dの中から一つ選 びなさい。

- 1 その会社は赤字を理由 _____ ^{かいしゃ あかじ りゆう}社員の給 料をカットした。
A から B で C と D に
- 2 このかばんは _____ ^なながらも、ポケットがたくさんあって便利だ。
A ^{ちい}小さい B ^{ちい}小さい C ^{ちい}小さく D ^{ちい}小ささ
- 3 田中さん _____ ^{うた}歌がうまくなりたい。
A のとおり B のようで C みたいに D らしく
- 4 久しぶりに会っためいっ子は、身長が _____ ^{しんちょう}いた。
A のびて B ふえて C ^あ上がって D ^{たか}高まって
- 5 都会は住宅事情が厳しい。 _____ ^{ぶつ か たか}、物価も高い。
A それだけか B それとも C そればかりか D それはそうと
- 6 留学のためのお金を親に出してもらえる _____ ^はは、なくなった。
A ^{む ちゅう}夢中 B ^{けっしん}決心 C ^{ねら}狙い D ^{のぞ}望み
- 7 成功するかどうかは、あなたの努力 _____ ^{です}です。
A ^{し だい}次第 B ^{さいちゅう}最中 C ^{いらい}依頼 D ^{ぎ み}気味
- 8 山田先生は生徒の能力を _____ ^{のがうまいので}のがうまいので、生徒たちの試験の点数もよ
くなっている。
A ^{お だ}押し出す B ^{と だ}取り出す C ^{ぬ だ}抜き出す D ^{ひ だ}引き出す
- 9 先日は、お菓子をありがとうございました。母も、おいしかったと _____。
A ^{ぞん あ}存じ上げております B ^{ぞん}存じております
C ^{もう あ}申し上げております D ^{もう}申しております

- 10 日本人^{にほんじん}みんなが寿司^{すし}が好きだとは_____。
- A 言うまでもない^い B 限らない^{かぎ}
C 相違ない^{そうい} D ほかならない

II _____とほぼ同じ内容^{おな ないよう}のもの、または、_____と最も関係^{もっと かんけい}のあるものをA～Dの中から一つ選^{なか}びなさい。

- 1 犬^{いぬ}はとても利口^{りこう}な動物^{どうぶつ}だ。
- A うるさい B 頭^{あたま}がいい C 便利^{べんり}な D 歯^はがするどい
- 2 ご飯^{はん}を食べるときは、きちん^たと座^{すわ}りなさい。
- A 行儀^{ぎようぎ}よく B 儀式^{ぎしき}よく C 作法^{さほう}よく D 礼儀^{れいぎ}よく
- 3 メンバーがお互^{たが}いを信^{しん}頼^{らい}してはじめてチ^ちームとして成^{せい}長^{ちよう}することができる。
- A 信^{しん}頼^{らい}してこそ B 信^{しん}頼^{らい}してさえ C 信^{しん}頼^{らい}しては D 信^{しん}頼^{らい}してまで
- 4 その俳優^{はいゆう}は最近^{さいきん}イメ^いージが変^かわった。
- A 姿勢^{しせい} B 写真^{しゃしん} C 印象^{いんしょう} D 表情^{ひょうじょう}
- 5 このスーツに合^あうネクタイがなかなか見^みつからない。
- A ぎりぎりの B ぎっしりの C びりびりの D ぴったりの
- 6 先日^{せんじつ}、この計^{けい}画^{かく}の実^じ行^{こう}について許^{きょ}可^かが下^おりた。
- A 覆^{おお}われた B 取^とり消^けされた C 認^みめられた D 見^み直^{なお}された
- 7 そのホテルは部^へ屋^やのサ^さイズによ^よって宿^{しゅく}泊^{はく}料^{りょう}が違^{ちが}う。
- A 部^へ屋^やが大^{おお}きいおかげで B 部^へ屋^やが大^{おお}きいにもかかわらず
C 部^へ屋^やの大^{おお}きさに比^{くら}べて D 部^へ屋^やの大^{おお}きさに応^{おう}じて
- 8 夏^{なつ}の海^{うみ}の美^{うつく}しさは、言^{こと}葉^ばでは表^{あらわ}すことができない。
- A 表^{あらわ}しうるものではない B 表^{あらわ}すというものだ
C 表^{あらわ}しかねない D 表^{あらわ}すおそれがある

- 9 あいつのことは、信じきっていたのに、だまされた。
- A ^{うたが} 疑いはじめていた B ^{しん} 信じるのをやめた
- C ^{しん} ちょうど信じようとしていた D まったく ^{うたが} 疑っていなかった

- 10 この選手が今の世界記録をやぶる日も近いと言われている。
- A ^{せかいきろく} 世界記録に劣る B ^{せかいきろく} 世界記録に届く
- C ^{せかいきろく} 世界記録を抜く D ^{せかいきろく} 世界記録を省く

Ⅲ _____ ^{はい} ^{もっと} ^{てきとう} に入る最も適当なものをA～Dの中から一つ選びなさい。

- 1 ^{やまだ} 山田さん：「^{たなか} 田中さん、^{まえ} 前に^{うきよえ} 浮世絵に^{きょうみ} 興味があるって_____」
- ^{たなか} 田中さん：「ええ、^{うきよえ} 浮世絵、^{だいす} 大好きなんです。」
- ^{やまだ} 山田さん：「今、^{いま} 市立^{しりつ} 美術館で^{うきよえ} 浮世絵の^{てんらんかい} 展覧会をやってるんですけど、いっしょ
- ^い に行きませんか？」
- ^{たなか} 田中さん：「わあ、ぜひ。」

- A ^い 言っていましたよね。 B ^き 聞きましたか？
- C ^し ことだったんですね。 D 知りませんでした。

- 2 ^{たなか} 田中さん：「^{やまだ} 山田さんって、いつも仕事、^{しごと} 早い^{はや} ですよ。」
- ^{やまだ} 山田さん：「いや、そんなことないですよ。」
- ^{たなか} 田中さん：「でも、^{きのう} 昨日_____、^{いいんかい} 委員会の^{しりょう} 資料、あつという間に^ま 作^{つく} ったじゃないですか。」
- ^{やまだ} 山田さん：「いや、あれは^{まえ} 前の^ひ 日に^{すこ} 少しやっていたので……。」

- A ^{こそ} こそ B ^{だって} だって C ^{なら} なら D ^{のみ} のみ

- 3 田中さん：「山本先生、明日から二週間ヨーロッパへ出張だって。」
山田さん：「ということは、_____っていうことか。」
田中さん：「そうなんだよ。つまり、木曜は山本先生の授業だけだから、二週連続で木曜が休みになるんだ。久しぶりに映画でも見に行こうかな。」

- A 学会に出席される
B 吉田先生もいっしょに出張される
C 今週と来週の授業は休講
D フランスとイタリアに行かれる

- 4 客：「チーズケーキのセットを二つといちごのケーキのセットを一つください。」
店員：「すみません。_____。」
客：「それじゃあ、チーズケーキ一つをホットケーキに変えてください。」
店員：「申し訳ありません。かしこまりました。」

- A いちごケーキがないんです
B チーズケーキがあと一つしかないんです
C チーズケーキ一つとホットケーキ一つですね
D ホットケーキを切らせていまして

- 5 客：「すみません。」
店員：「はい、なんでしょう。」
客：「_____」
店員：「申し訳ありません。すぐお持ちします。」

- A アイスクリーム、一つしか頼んでないのに、二つ来ちゃったんですけど。
B お会計お願いします。
C ジュースを少しこぼしてしまって。なにかふくもの、ありませんか。
D 頼んでいたオレンジジュース、まだみたいなんです。

Ⅳ ①～⑧の漢字の読み方をひらがなで書きなさい。また、(1)～(7)の_____のひらがなを漢字で書きなさい。

この ① 卵 は ② 地元 で取れたものです。

知識が ③ 浅い ので、 ④ 到底 その話にはついていけないだろう。

あの人形はよく ⑤ 腕 が ⑥ 曲がり ます。

⑦ 尊敬 する先生から ⑧ 丁寧な お手紙をいただいた。

体が (1) よわ いので、毎日 (2) くすり を飲んでいます。

(3) とう 難にあって、(4) か してもらった本をなくしてしまった。

(5) こう 公共交通機関を利用して (6) い 動してください。

春になると、美しいさくらが (7) さ きます。

V つぎ ぶんしょう よ 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。答えはA～Dの中から最も適切なものを一つ選びなさい。

ち せい 知性は、「答」を見つけるのと同時に、どう じ 「問題」も 発見 します。

「“問題” なんか 発見 したって、その答が見つけられなければなんの意味もないじゃないか」と思われるかもしれません。でも、「そこに問題がある」ということに気がつかなければ、「答」なんかは永遠に見つけられないのです。

(1) 重要なのは「問題」を 発見 することで、「答」を 発見 することではありません。

「ここに問題がある」ということが 発見 出来れば、遅かれ早かれ、その問題を 解く ということは 起こります。「問題を 発見 する」ということが 重要なのは、その 発見 した「問題」が、自分にとって意味のある問題だからです。

じんせいそうだん 人生相談というのは、自分の抱えている「問題」を他人に相談してなんとかしてもら

うことですが、(2) どうしてこれに答える人間は、自分とは関係ない「他人の悩み」
なんかに答えることが出来るのでしょうか？ 別にそうむずかしいことはありません。

悩みを訴える人は、自分で「自分の問題」をまとめてしまっているからです。

自分で「問題」を整理しなければ、他人に相談なんか出来ません。だから「自分の悩
んでいることはなんだ？」と一生懸命考えます。他人から見れば、それは「モヤモヤ
が収まって、解決まであと一歩」というような状態なのですが、相談者は「解決出来
ない自分の問題」をかき集めてまとめるのに精一杯なので、「ほら、その先に答が見え
てるじゃないか」という気づき方が出来ないのです。

人生相談というのは、(3) 相談者が「私の悩みはこういうものです」と言った段階
で、うっすらと答が見えているようなもので、全然知らない相手に対しての方がそうい
う分かり方が出来ます。なまじに知っている相手から相談を持ちかけられると、相手の
話を聞く前や聞きながら、「こいつがなんの相談をするんだ？」などと考えて、相手が
まとめようとする相談事の内容をまぜっ返したり、適当なところで「分かった、分かつた」と
言言って最後まで聞かなかったりして、「なにが問題か」というところを明確にさせ
なかつたりしてしまいます。だから、「知らない相手の相談」の方が、「問題」がはっきり
している分だけ、答えるのが簡単なのです。

時には、なにを相談しているのかさっぱり分からない人がいます。そういう人には、
「あなたの最大の問題は、自分がどういう問題を抱えているのかよく分かっていないこ
とです」と言うしかありません。

「考える」というのは、問題を発見し、その問題を解くことです。だから、「答」を求め
るのに性急な人は、その「問題とはなにか」を考えることがめんどくさいのです。つ
まり、「考える」ということは自分以外の誰かがやっていて、自分はその「答」を拾う
だけでいい」と考えているからです。だから「自分の問題」を提出することが出来ず、
問題は当然のこととして解決しないのです。

今や「人間に代わって“考える”というめんどくさい行為をして答を見つけてくれる
道具」である(4) コンピュータというものがあります。だから、「めんどくさいこと
を言わずに、ネット検索」ですみます。

コンピュータは、簡単に人間に「答」を与えてくれます。「与える」というよりも、「見
つけてくれる」でしょうが、うっかりするとその能力こそが「頭がいい」なのだと勘違
いする人もいるでしょう。でも、「答」を見つけ出す能力の高いコンピュータは、「問題」
を発見したりはしません。「問題」を発見するのは人間で、「問題を発見しろ」という指令
を出したり、あらかじめ「こういう問題を発見しろ」という回路が仕込まれていなければ、
コンピュータは「問題」を発見なんかしません。

どうしてコンピュータが自分から進んで「問題」を発見しないのかというと、それは

コンピュータが生き物ではなくて、機械だからです。

(橋本治『負けない力』より、一部表記を改めた)

問い 1 下線部 (1) 重要なのは「問題」を発見することで とありますが、「問題」

をうまく発見できない人とは、たとえば、どんな人ですか。

- A 他人からの相談をことわる人。
- B 「問題」について考えるのはめんどくさいと思う人。
- C 「答」を見つけても意味がないと考える人。
- D どんなことについても考えすぎる人。

問い 2 下線部 (2) どうしてこれに答える人間は、自分とは関係ない「他人の悩み」

なんかに答えることが出来るのでしょうか？ とありますが、その理由はなんで

- A 人生相談に答える人は、相談者本人よりもその人の問題をまとめるのが上手だから。
- B 人生相談に答える人は、自分の悩みを整理してから他人の問題の答を考えるから。
- C 他人に悩みを相談する人は、問題の答を得ることよりも問題を整理することを望んでいるから。
- D 他人に悩みを相談する人は、たいていもう少しで答を出せる状態になっているから。

問い 3 下線部 (3) 相談者 について正しいものはどれですか。

- A 人生相談の相談者と答える人とが知り合いの場合、答える人が相談者の言うことをあまり聞いてあげないことがある。
- B 人生相談の相談者と答える人とが知り合いの場合、答える人が相談者の問題をはじめから理解していることが多い。
- C 人生相談の相談者と答える人とが知り合いでない場合、答える人が相談者の言うことをあまり聞いてあげないことがある。
- D 人生相談の相談者と答える人とが知り合いでない場合、答える人が相談者の問題をはじめから理解していることが多い。

問い4 ^{か せん ぶ}下線部(4) コンピュータ は、どのような能力^{のうりよく}が高いですか。

- A ^{にんげん}人間のために「問題」を見つける能力。
- B 人間のために「答」を見つける能力。
- C コンピュータ^{じ しん}自身のために「答」を見つける能力。
- D コンピュータ自身のために「問題」を見つける能力。

問い5 ^{ぶんしょう}この文章の内容に合^あっているものはどれですか。

- A ^{じんせいそうだん}人生相談の相談者^{そうだんしゃ}の多くは、^{じつ}実ははじめから答がわかっている。
- B ^{もんだい}問題を抱えている人は、^{た にん}他人に相談せず自分で^{かいけつ}解決したほうがよい。
- C なにを相談しているのかわからないような人は、自分の問題がなにかをわかっていない。
- D 自分の問題がなにかをわからない人は、^{にんげん}人間よりもコンピュータに相談したほうがよい。

問題

C

Advanced Level

I _____に入る最も適当なものをA～Dの中から一つ選びなさい。

- 1 今朝はいつもより_____早い電車に乗って学校へ行った。
A 一便 B 一面 C 一発 D 一本
- 2 講師が急病に_____、本日の講演会は中止とさせていただきます。
A かけて B つき C もって D ゆえ
- 3 この勝負は翌朝までの長期_____になりそうだ。
A 網 B 帯 C 戦 D 通
- 4 急激な円高で会社の_____が悪化した。
A 業績 B 功績 C 実績 D 成績
- 5 安いアパートに入ったら、隣室の声が_____で困っている。
A 底抜け B 筒抜け C 中抜け D 吹き抜け
- 6 学校帰りに道草を_____。
A 売る B 食う C 摘む D 結ぶ
- 7 ふだんから_____体を動かすようにして、ダイエットに励むことにした。
A せっせと B つかのま C てっきり D とっさに
- 8 彼のふだんの食生活からすれば、その病気は_____してなったと言えよう。
A なるべから B なるべき C なるべく D なれべし
- 9 君もいいかげん子どもでは_____、それぐらいの分別はあってもよさそうなものだが。
A あるまいし B さることながら
C ないまでも D なきにしもあらず

- 10 昔は、よく恋愛ドラマに出てくるような_____世界にあこがれたものだ。
- A オートマチックな B グレーな
C ロマンチックな D ルーズな

II _____とほぼ同じ内容のもの、または、_____と最も関係のあるものをA～Dの中から一つ選びなさい。

- 1 田中さんは、どういうわけか、私にはいつもそっけない態度をとる。
- A 関心がない B 品がない C 誠実でない D 素直でない
- 2 体力をつけるために、とりあえず朝のランニングから始めよう。
- A 最優先で B 仕方なく C 何としても D まずは
- 3 支社を任され、大勢の社員を率いる責任を痛切に感じる。
- A ビビッと B ピカッと C ひしひしと D ぎしぎしと
- 4 今年のわが家の家計は、大ピンチだ。
- A 後の祭り B スズメの涙 C 天の声 D 火の車
- 5 すぐにでも飛んでくると言わんばかりの返事だった。
- A 言っていそう B 言わざるを得ない
C 決して言っていない D 何度でも言っている
- 6 息子は大学を卒業後、二年ほどふらふらしていた時期があった。
- A 病気を患っている B 流行にはまっている
C 定職についていない D 地に足がついていない
- 7 彼の言っていることは、どう考えても矛盾している。
- A きまりわるい B つじつまが合わない
C もったいない D ゆとりがない

3 山田さん：「田中さん、すみません。来年の会計係なんですけど、引き受けてくださいますか。」

田中さん：「うーん、そうですね。前にもお伝えしましたが、仕事が忙しくて。だれか別の方を探してくださいませんか。_____。」

山田さん：「そうですか。その時はぜひお願いします。まずは他の人を探してみます。」

- A その人が助けてくれるかもしれません
- B 他に人がいなければ、考えてみますが
- C 私であれば、喜んでお引き受けしますよ
- D 私はどうしてもお引き受けできません

4 先生：「ここまでは“空間認知と脳の発達”について見てきました。____、それでは次のテーマにいきましょう。次の話題は“時間認知と脳の発達”です。」

- A さて
- B ちなみに
- C つまり
- D ところで

5 学生：「失礼します。授業のことでご相談したいことがあるんですが。」

先生：「はい、何でしょう。」

学生：「再来週の金曜日の経済学概論の授業なんですけど、_____」

先生：「そうですか。わかりました。シラバスのとおり、休んだ時のための課題を出しますね。」

- A 実は風邪をひいてしまって。休もうかと考えているんですが。
- B インターンシップに行くので、休ませていただけないでしょうか。
- C 休講だと聞きました。来週分の提出課題はいつ出したらいいですか。
- D 体調が悪くて休んでしまいました。その日の内容はどうしたらいいでしょうか。

Ⅳ ①～⑧の漢字の読み方をひらがなで書きなさい。また、(1)～(7)の_____のひらがなを漢字で書きなさい。

あの観光地には ① 鮮やかな 色をした ② 宮殿 がある。

③ 細菌 が急激に ④ 繁殖 している。

悪化した ⑤ 財政 を立て直すための ⑥ 審議 を行っている。

お年寄りを介護する ⑦ 施設 を ⑧ 営んで いる。

妹の人形を (1) こわ してしまったので、ひどく (2) おこ られた。

間違いをすぐに (3) てい 正して、再度出すよう (4) うなが した。

みんなは (5) はま 辺を (6) はい 景にして記念写真を撮った。

この映画の (7) ひょう 判はあまりよくないようだ。

V 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。答えはA～Dの中から最も適切なものを一つ選びなさい。

くりかえし借りたがるということに関連していえば、子どもは気に入った本に出会うと、くりかえし、くりかえし、読んでももらいたがります。たいていのおとなは、何回目かにあきてしまって、子どもがその本をもってくるとうんざりします。うちの子は、偏執狂じゃないかしらと心配する親御さんさえいます。いいえ、そんなことはありません。これは、子どもにとっては、ふつうのことです。三か月や四か月、同じ本を (1) くりかえし読む のはざらで、八か月、九か月というのも珍しくありません。一年以上にわたって、同じ本を読みつづけることもあります。図書館に来るたびに、いそいそと『ぐりとぐら』をもってわたしのところへやってきて、「読んで」とせがんだ子もいました。それも、二年近くつづいたと思います。

同じ本を同じように読んでもらっていても、おそらく子どもは、その都度何か新しい発見をしているのだと思います。あるいは、そのときどきに必要としているものを本から得ているのだと思います。そうでなければ、それほどくりかえし読んでもらいたがりはないでしょう。

また、その本が、読むたびに新しい何かを提供しなければ、それほど長い間、子どもをひきつけておくことはできないでしょう。幼い日に、こうした(2)「くりかえし読むに耐える」本に出会うことは、ほんとうに幸せなことなのです。

今は、非常に数多くの子どもの本が出版されています。けれども、子どもの場合、ことに幼い子どもの場合、数多く読むことがいいこととはいえません。むしろ、数は少なくてもお気に入りの本があり、それをくりかえし読んで、たのしむことのできる子どものほうが、本と実質的な、深い関わりをもっていると思います。つぎからつぎへ新しい本を読んで、そのなかに「わたしの一冊」「ぼくの一冊」といえる本を見つけられないことのほうが、むしろ心配すべきことのように思います。どうか、「ああ、またか！」と思っても、つきあってあげてください。そうすれば、ある日、ふいにその本から卒業するものです。

くりかえしにつきあうことと同じように、よく受けるご質問は、いったいつまで読んでやったらよいものなのでしょうか、というものです。「子どもがいやがるまで」というのがわたしの答えです。字が読めない子に読んでやるのは当然のことです。でも、読めるようになった子に読んでやっていけない理由はありません。(3)「自分で読める子にも読んでやる理由」はあります。

そのひとつは、子どもが耳でことばを聞いて理解する能力は、目から活字を読み取って理解するそれとくらべて数段先をいっているということです。スピードも違います。ですから、読む力に合った内容のものは、子どもの知的な冒険心を十分満足させるものにはならない場合が多いのです。おもしろい本でも、読書力がついていけないために、途中で諦めざるを得ないことも起こります。そこを^{あきら}読んでやることで補ってやれば、成長の最先端をいく内容の本にふれることができ、本に対する信頼、期待の念を失わずにすみます。らくに読める本だけ読んでいたのでは、十分な刺激を受けることがなく、本に対する要求水準が下がってしまいます。

もうひとつの理由は、読み聞かせでは、声の中に自然に表出される読み手の読解力、解釈、表現力などが、そのまま聞き手に伝わることです。少なくとも子どもたちより長く生きてきた分、おとなは読むことばに経験の裏づけをもっています。読むとき、それはおのずと声のなかに表れるものです。子どもは、その声を聞きながら、本の内容だけでなく、そこにこめられた読み手の心の動きや、本の味わい方を受け取ります。おそらく自分で読んだのでは感じなかったかもしれないおもしろさを感じ取ることができるは

ずです。その結果、将来自分でどんどん本を読むようになったとき、いつのまにか、より深く本を味わう力が身についていたことを発見することになるでしょう。読み聞かせによる「耳からの読書」は、「目からの読書」の力を育てる意味でも、非常に大切なことなのです。

さらにいえば、読み聞かせは、親と子が一冊の本を仲立ちに、(4) 深いところの交流をする機会でもあります。読んでやっていて、ふと見ると、子どもの目に涙が浮かんでいるのに気がつき、その子のなかにある、ふだん見ないものを見たとおっしゃるおかあさん。読んでいるうちに、読んでやっていることを忘れて、思わず笑い出してしまったおかあさんに、なんども、なんども同じ箇所をくり返して読ませた子ども。作中人物のせりふに、読み手である父親の深い思い入れがあるのを感じとって、そのことばが折にふれてよみがえるようになったという青年。日常の生活の中では、こころの深みにふれる会話をするのはめったにありませんが、本を通してなら、さほど気恥ずかしい思いもせずに、真面目な話題も口にすることができます。また、とりたてて話し合わなくても、本を共有するだけで、通じ合うものを感じることができるでしょう。

(松岡享子『子どもと本』より、一部表記を改めた)

問い1 下線部(1) くりかえし読む ことについて筆者の考えに合っているものはどれですか。

- A 子どもはくりかえし本を読んだとしても、偏執狂になることはないと思われる。
- B 子どもはくりかえし本を読んでいても、二年程度で読まなくなるとと思われる。
- C 子どもはくりかえし本を読むたび、新しい発見をしていると思われる。
- D 子どもは『ぐりとぐら』をくりかえし読むのが当然であると思われる。

問い2 下線部(2) 「くりかえし読むに耐える」本 とはどのような本ですか。

- A くりかえし読むのに耐える力が身につく本。
- B くりかえし読んでも楽しめる本。
- C くりかえし読んでも傷^{いた}まない本。
- D くりかえし読むことが必要な本。

問い3 下線部(3) 自分で読める子にも読んでやる理由 とは何ですか。

- A 子どもには読むスピードと読書量が不足しているから。
- B 大人が読む声から、子どもが本の内容を正しく受け取ることができるようになるから。
- C 読み手の解釈や表現力が声を通して伝わり、子どもに本をより深く味わう力がつくから。
- D 子どもが難しい本を途中で諦^{あきら}めないために、難しい内容の本を読み聞かせる必要があるから。

問い4 下線部(4) 深いところの交流をする機会 と筆者が考える理由として間違っ
ているものはどれですか。

- A 本を通して、真剣に話し合う気恥ずかしさに親子で気づくことがあるから。
- B 本を通して、子どもが普段見せないところが親に伝わることもあるから。
- C 本を通して、親子で楽しさを共有できることがあるから。
- D 本を通して、親の思いが子どもに伝わることもあるから。

問い5 本文の内容に合っているものはどれですか。

- A 子どもは、くりかえし読み聞かせをしてもらうことで、何事も諦^{あきら}めない力がつく。
- B 読み聞かせをすることで、一人では読めないような本の内容にも、子供はふれることができる。
- C 親は、子どもの冒険心を育てなければならないので、早いスピードで読み聞かせを行うべきである。
- D 読み聞かせは、目で活字を読むよりも、子どもが楽に本をくりかえし読めるのでよい。